

ことば
リアルな言葉

2024/7/10

No.26

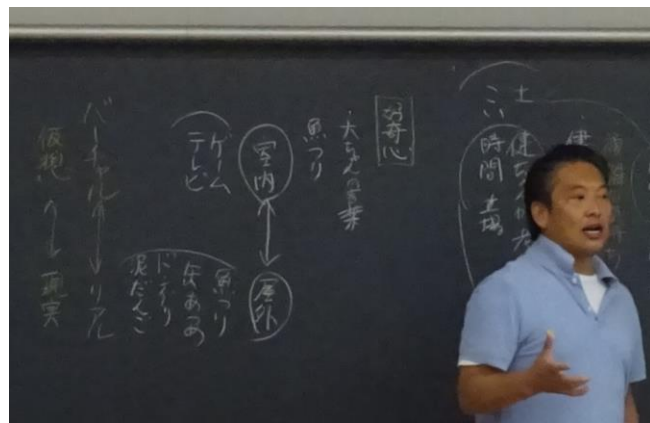
岩渕和信

みんなで^{あべなつまるさく}阿部夏丸作『みちくさ』を^よ読んでできました。これまでの読みをふまえて^{きょうしと}教師が問います。「健^{けん}ちゃんは何^{なに}やってたんだっけ」
「室内^{しつない}で」「ゲーム」「テレビ」「ユーチューブ」



「あ、^{いま}今^{かんが}ときで考^{かんが}えればユーチューブもあるだろうね。じゃあ、大^おちゃんは？」
「魚^{さかな}釣^{なつ}り」「屋^{おく}外^{がい}で」「ドン^{あつ}グリ集^{あつ}めたり」
「そうだね、それ^かも書^かいてあ^あったね」
教師は子^こどもの発^{はつ}した言^{こと}ばを一つ一つ受^うけとて黒^{こく}板^{ばん}に書^かいてい^いきます。対^{たい}話^わの中^{なか}で消^きえてい^いってしまう言^{こと}ばを見^みえる化^かして残^{のこ}す。

ここで教師が問^といます。
「上^うと下^{した}の違^{ちが}いってなんだろう。健^{けん}ちゃん^と大^おちゃんのや^やって^てるこ^この違^{ちが}い」
「え、だから室^{しつ}内^{ない}と屋^{おく}外^{がい}」
「いや、そう^せな^{かい}ん^{かん}だ^{かん}けど、ど^どんな^{かん}世^せ界^{かい}観^{かん}？」
「あ、^か仮^か想^{そう}空^{くう}間^{かん}」



「おー！出^でた。ま^まさにそれ、バーチャル^たなんだよ^ねね。」教師は、上^うにバーチャル、仮^か想^{そう}と書^かきました。「対^{たい}して？」
「^{げんじつ}現^{げん}実^{じつ}！」教師は下^{した}にリアル、現^{げん}実^{じつ}と書^かきました。
「世^せ界^{かい}観^{かん}が違^{ちが}う！」一^{ひとり}人^{にん}が、さ^さっ^さき教師が使^{つか}った言^{こと}ばを自^じ分^{ぶん}の言^{こと}ばとし^して使^{つか}いま^ました。こ^こうして対^{たい}話^わの中^{なか}で発^{はつ}するた^たびに自^じ分^{ぶん}の言^{こと}ば、リアルな言^{こと}ばがつくられてい^いきます。

教師の役割は子どもたちの声を聞き、社会の様々な人や場所と出会う機会を作り、
子どもたちが考えていることが見えるようにすること。(ヴェルステッド・ヨハンソン)